

2022年7月7日

国土交通大臣 齊藤鉄夫様

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

代表 中島 康

〒860-0073 熊本市西区島崎 4-5-13

TEL:090-2505-3880

川辺川ダム建設中止を求める申し入れ書

一昨年の豪雨災害は球磨川・川辺川流域に多大な被害をもたらしました。しかし、この災害は線状降水帯による過去に例を見ない降雨量の豪雨がきっかけであることは間違いありませんが、だからと言ってそれによって発生した災害はなすべきことがなされていれば、防ぐことが出来た人災であると考えられます。

貴省が明らかにサボタージュしていた人吉地区の河床掘削などでさえも、治水効果は川辺川ダムを超える効果があったという計算結果が明らかになっています。中流域では、瀬戸石ダムがダム地点で5メートル程度水位を押し上げたことが貴省の発表の資料で明らかになっています。しかし、貴省は瀬戸石ダムが無かった場合の検証を拒否しています。

豪雨災害の被災者に対して「7・4球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会」が昨年行ったアンケート結果では、被災者が求める水害対策として最も多いのが「堆積土砂の撤去」45.1%、次に多いのが「山林・山を保全する」40.7%でした。「ダム」に関しては「流水型（穴あき）ダム建設」を望む人は8.1%に対し、その3倍近くの21.1%の被災者が、「市房等球磨川流域のダムの撤去」を望んでいます。

私たちも、流域でチラシ配りをしながら住民と話したときに感じるのですが、住民の中でダム建設を望む人は非常に少ないということです。また、住民はダムの持つ危険性、環境への悪影響をしっかりと認識しています。

このように、球磨川水系の治水問題の当事者と言える被災者はダムによる治水を拒否しています。

このような状況にもかかわらず、貴省はダムに固執し、新たに流水型の川辺川ダム建設を推進しようとしています。ダム建設など言語道断であり、犯罪です。貴省に対して、下記事項を申し入れます。

記

1. 流水型の川辺川ダム計画は中止すること。
2. 今後、発生する予定の流水型川辺川ダムの建設費用約 2700 億円は五木村の振興や豪雨災害の被災者の生活再建費用に回すこと。

以上

2022年7月7日

国土交通大臣 齊藤 鉄夫様

瀬戸石ダムを撤去する会

共同代表 出水晃、上村雄一、緒方俊一郎、本田進

連絡先 869-0222 熊本県玉名市岱明町野口 927

TEL:080-3999-9928 FAX:0968-72-5604

E-MAIL: tsuchi_tk@yahoo.co.jp

瀬戸石ダムの再稼働中止と撤去を求める申し入れ書

一昨年7月4日の豪雨災害で明らかになったように、瀬戸石ダムは球磨川中流域の治水の癌ともいえるものです。

貴省が中流域で行ってきた主な治水対策と言えば、住宅のかさ上げや瀬戸石ダム湖の土砂撤去です。しかし、この前の豪雨災害ではそれらは役に立たず、あれだけの災害をひき起こしてしまいました。ダムを管理運営する電源開発株式会社（以下電源開発）は、瀬戸石ダムが水位を大幅に上昇させた事実はなかったとしていますが、貴省発表の豪雨災害当日の実績の水位でも明らかな通り、ダムが水位を押し上げたことは明らかです。

河川管理者としての貴省のこれらの治水対策が不十分であったために、一昨年の豪雨災害は引き起こされました。

貴省は、「昨年7月の豪雨水害について、瀬戸石ダムがなかった場合の水位シミュレーションを行っているのか、行う予定があるのか。検討状況はどうなっているか」との国会議員の質問に対して、「事業者（電源開発）より瀬戸石ダムの撤去の意向は示されていないことから、撤去を想定した水位シミュレーションを行う予定はございません」と回答しています（2021年7月26日、貴省・水管理・国土保全局治水課企画専門官小林賢也氏が田村貴昭衆議院議員事務所宛に送った回答書）。これは河川管理者としての職務放棄とも言うべきものであり、見過ごす訳にはいきません。電源開発の意向云々の前に、水位シミュレーションを行い、瀬戸石ダムの存在があつた災害の原因だということが判明したら、ダム撤去を含めて電源開発を指導するのが本来の貴省の果たすべき役割です。

また、1958年に瀬戸石ダムが完成してから既に64年になろうとしています。流域住民はその弊害に悩まされてきました。治水面だけではなく、ダムは川や海の環境面にも多大なる悪影響を及ぼしてきました。瀬や淵の消失によるアユなどの漁場や産卵場所の消滅。漁族の移動阻害。ウナギやアユなどの漁獲高の激減。赤潮やアオコによる水質汚濁と異臭、ヘドロの発生などです。そしてそれらの濁水が一気に下流域に放流されることにより、球磨川の内水面漁業だけでなく不知火海の漁業にも悪影響を及ぼしてきました。ダムが出来たことで漁獲高が減ったという多くの漁師の証言もあります。貴省はこのようなダムの環境面への影響をどう見ているのでしょうか。そのような面からもダムの影響を明らかにしていくべきです。つきまして、下記の通り貴省に申し入れるものです。

記

1. 一昨年7月の豪雨水害について、瀬戸石ダムがなかった場合の水位シミュレーションを行い、瀬戸石ダムの危険性を明らかにすること
2. 瀬戸石ダムの環境面での川や海への影響を明らかにすること
3. その上で、電源開発に瀬戸石ダムの再稼働を中止させ、撤去させること

以上

2022年7月7日

国土交通大臣 齊藤鉄夫様

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島 康

〒860-0073 熊本市西区島崎 4-5-13

TEL:090-2505-3880

立野ダム建設工事を即刻中止し、現在までに建設した構造物を 解体撤去すること要求します

立野ダムは全く不要なダムです

立野ダムは、阿蘇カルデラただ一か所の切れ目に作られつつあります。阿蘇カルデラ内を流れ下る、立野の上流黒川の流域には小倉、手野両遊水地が完成し、その他五つの遊水地が計画、または完成している遊水地があります。立野ダムの洪水調節能力は毎秒 200 立方メートルと聞いています。今完成している小倉遊水地だけの洪水調節能力は毎秒 140 立方メートルだそうです。あと 6 個所の洪水調節能力を合わせればどの位になるのでしょうか。県も国も黙して語りません。無駄で何にもならないだけでなく、阿蘇の大事な自然を破壊するだけのものです。

立野ダムのゲートとは何ですか

立野ダムはゲート式流水型(穴あき)ダムだそうです。ゲートは、何のためにあるのですか。またゲートがあるということは、一般の治水ダムとはどこが違うのですか。

流水型ダムが自然に優しいとなぜいえますか

立野ダムは高さ 90m、幅約 200mで、流水用の 5m角の 3本のトンネルの長さは 80mくらいでしょう。またトンネル内の水の抵抗を考え、内面はツルツルのステンレス張りとなっていると思います。当然中は真っ暗、水深も 10センチ前後でしょう。その上ダムの下流側は全面でっぴりのついた全面コンクリート張り、しかもダムから下流へ 100mは続くでしょう。このような条件下で魚などの生物がダムをこえて行き来するものでしょうか。なぜ流水型ダムが自然に優しいのか分かりやすく説明してください。

立野ダムは本当に安全ですか

熊本地震で北向山をはじめ周りの山やみちが大きく崩れ、それに橋、その上ダムの工事事務所も跡形もなく壊れました。立野には大きな活断層があり、今回の地震で新たに発見された活断層もあります、このようなところは地質的に安定しているとは言えないところです。立野の下流には多くの人口を抱える熊本市があります。このような所にダムなど、とんでもないことです。なぜ立野にダムを造ることが危険でないと言えるのか、分かるように説明してください。

以上のように建設されつつある立野ダムには、これ以上にまだまだ多くの問題を抱えています。今一度阿蘇の立野にダムを造ることを考え直し、工事を中止し、作ったものを早急に撤去すべきです。

以上